

# 神経内科外来のご案内

8月から島根県より、神経内科 齋藤 潤先生を派遣していただいております。

先生のご紹介に併せ神経症状でお悩みの方は是非ご相談をしていただきますようご案内いたします。



## 診察日：毎週木曜日

診察は予約となりますので、平日(月～金)午後2時から午後5時までの間に、電話 0854-43-2390へお問い合わせください。



## 齋藤 潤 先生より ひとこと



認定医、専門医、  
指導医



平成21年8月より雲南総合病院内科にて神経内科外来を担当させていただいております齋藤潤と申します。

神経内科外来は、主として神経変性疾患(パーキンソン病、認知症など)、機能性神経疾患(頭痛、めまい、てんかんなど)を診療する科です。当院においては画像診断(CT、MRIなど)、神経生理学検査(脳波、誘発電位、筋電図など)も充実していますので、外来でもそれらを駆使し診断・治療を行う所存です。

また最近では眼瞼痙攣、顔面痙攣など従来難治であった疾患に対する治療も前病院では外来で行っており、優れた結果が得られていました。

物忘れ、痙攣、失神、頭痛、めまい、痺れ、痛み、ふるえ等の神経症状でお困りの患者様がありましたら、是非ご紹介ください。

脳卒中(脳出血・脳梗塞)につきましては、後遺症患者様での後遺症状の軽減や諸合併症のコントロールを出来れば、と考えています。

よろしくお願いいたします。

# 院内保育所オープン!

9月1日に待望の院内保育所の開所式を行いました。当日は速水病院管理者・入所親子の代表2組により、保育所看板の除幕式が行なわれました。5・4・3・2・1のカウントダウンと共に白布が取り除かれ、鮮やかな色彩の看板が現れました。開所式の様子は、NHK松江・山陰放送テレビ・山陰中央新報等で報道され、関心の高さを物語りました。特に山陰放送テレビでは夕方のニュース「テレポータル山陰」の番組の中で特集として大きく取り上げていただきました。



さて、ここで院内保育所設置の基本的な考え方・経緯について簡単に説明させていただきます。今回の保育所は、慢性的に不足している医師・看護師確保や、働きやすい環境づくりを目的として設置を行ったものです。

建物は医師住宅の一部を改装した小規模な施設です。施設整備については、将来的な入所希望者数の正確な把握が困難であるため、当分の間は必要最小限の規模とし、今後入所希望者の増加が見込まれる場合には、施設の拡充について検討を行ってまいります。

次に、保育業務についての考え方です。保育業務については、保育内容に対する高い専門性、業務の安定性が求められることから、保育所運営実績のある民間事業者に委託を行います。今回、公募プロポーザル方式により選定を行い、最も優れた提案のあった広島県の「株式会社アイレンタル」と委託契約を締結しました。また、保育内容については、保護者の意見を反映させ、保育の質向上や運営方法の改善に随時努めることとします。

次に、保育時間についてです。保育時間については、昼間は、「365日・年中無休」の保育を提供します。また、夜間は、週2回の「24時間保育」を実施します。保育所入所者の夜勤スケジュールを統一することにより、日勤・夜勤のいずれの場合にも常に保育所に預けることが可能な体制を整備しています。

次に保育所の通称名についてです。保育所の通称名については、職員から募集を行い、入所児童保護者の選考により、「ほたるキッズ」という名前に決定しました。この「ほたるキッズ」という名前は、大東ジュニアバレーボールチームのチーム名と同じであり、今後この名前を共通点に、交流などを図ることができればと期待しています。

次に、入所乳幼児の状況についてです。開所時点での入所児童は、昼間時間帯・夜間時間帯共に1名ずつの2名です。定員が10名のため、少人数のスタートですが、今年度中に、新たに3名が入所予定ですので、段々とにぎやかになっていく予定です。保育士は、現在4名が勤務しています。大規模保育所とは異なった、小規模施設ならではの「個別保育」を特色にしなが、子供さんと共に成長をしていきたいとの思いで日夜保育に向き合っています。今後とも「ほたるキッズ」をよろしくお願いいたします。

